

標 題 一畑電鉄とのコラボで出雲ぶどうを県内外の観光客へPR

(ダイジェスト)

J Aしまね出雲ぶどう部会の「産地活性化プラン」の販売戦略の一環として、5月12日に一畑電鉄出雲大社前駅横のポケットパークにて、試食及びチラシを配布し、ぶどうの産地「出雲」のPR活動が行われました。

J Aしまね出雲ぶどう部会では、平成30年11月に「産地活性化プラン」を作成し、若手農家を中心としたプロジェクトチームを編成、「販売戦略」、「デラウェア・シャインマスカットの両立」、「期間労働力の確保(労力補完)」、「組織化(法人化)」、「就農しやすい環境づくり」等に取り組んでいます。

今回のPR活動は、「販売戦略」の一環で、当日は、部会の女性部、ぶどう女子会のメンバーをはじめ、島根ワイナリーのマスコットキャラクターの「しまりん」も参加し、出雲産のデラウェアの試食とPRチラシ600部を配布し、出雲産ぶどうのPRを行いました。

埼玉など県外からの観光客をはじめ、松江からの観光客の中にも、「出雲がぶどうの産地であることを知らなかった」という方がおられ、県内外の方々へ絶好のPRの機会となりました。

また、家族連れの観光客には、島根ワイナリーのマスコット「しまりん」との記念撮影も好評であり、撮影をきっかけに「出雲産ぶどう」について話が弾みました。

今後、①学校給食への出雲産ぶどうの提供及びPR、②ポスターやチラシによる広報活動、③イベント等のキャンペーン実施、④「恋ぶどう」の商標登録、⑤出雲産ぶどうを用いた加工品開発、⑥スマートフォンを用いた情報発信に取り組むこととなっています。

当普及部では、今後も部会の積極的な取り組みをサポートし、ぶどう産地である出雲の「産地活性化」を後押しします。



女性メンバーと「しまりん」



一畑電鉄出雲大社前駅横の広場